



平成20年2月8日

各位

会社名 グランディハウス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 福田 晃
 (コード番号: 8999 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役 齋藤 淳夫
 (TEL. 028-650-7777)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月6日に公表しました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,500	1,520	1,500	850	8,504.39
今回修正予想(B)	14,500	390	310	130	1,300.67
増減額(B-A)	△5,000	△1,130	△1,190	△720	△7,203.72
増減率(%)	△25.6	△74.3	△79.3	△84.7	△84.7
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	22,220	3,138	3,023	1,734	16,886.08

2. 平成20年3月期 個別業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	1,250	1,250	700	7,003.61
今回修正予想(B)	12,000	385	320	165	1,650.85
増減額(B-A)	△5,000	△865	△930	△535	△5,352.76
増減率(%)	△29.4	△69.2	△74.4	△76.4	△76.4
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	21,662	3,055	2,956	1,688	16,433.49

3. 修正の理由

平成20年3月期下半期の業績に関しましては、当期上半期の後半に受注が回復基調となったことから新規商品の充実に伴う一定の回復を見込んでおりましたが、本日発表の「平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況」の通り当第3四半期の売上及び受注が計画を下回ったこと、マンションを含めた住宅全体の需給バランス等の当期中の改善は難しいと判断されること、更に第4四半期については、成長分野への事業の拡大や地域統括会社の設立等の事業構造改革に関し、その業績への本格的寄与は来期以降になると見込まれる一方でこれらの取り組みに伴う当期中の経費が増加することから、前回発表の業績予想（平成19年8月6日）を修正いたします。

なお、平成19年11月7日の中間決算短信時に公表いたしました平成20年3月期の配当予想に変更はありません。

(注記事項)

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上